

よくあるご質問

1. 応募条件について

Q. 言語レベルはどのくらいですか？

A. 通訳なので、日常生活に必要な読み、書き、会話のレベルは必要です。検定試験では2級程度を考えています。日本語の場合は日本語能力試験N2程度です。

Q. 医学の知識は必要ですか？

A. 専門的な知識は必要ありませんが、日本の中学校などで勉強する体の基本的な仕組みについての知識は必要です。専門的なことについては、登録後の研修などで学ぶ機会があります。もちろん、ご自身で勉強をすることも必要です。

Q. 医療通訳スタッフはどのような背景の人が多ですか？

A. 定年退職した人や、海外で在住経験がある人が多く、女性が多いです。

Q. 住んでいるところが研修や活動場所から遠いのですが、応募できますか？

A. 神奈川県内の協定医療機関で通訳活動を行うことができ、また、横浜の近くで行われる年3回の研修や言語別勉強会（主に土日）に出席することができるのであれば、県外にお住まいでも応募することができます。ただし応募者が多い場合、県内在住者を優先することがあります。研修や勉強会は、オンラインで開催することもあります。基本的には会場参加で開催します。

Q. 土日しか活動できませんが、応募できますか？

A. 平日に活動できる方を優先します。病院からの土日の依頼はほとんどありません。

Q. 医療通訳の資格は取得できますか？

A. 資格を与えるものではありません。

2. 研修について

Q. 研修に参加はしないで見学だけしたいのですが、可能ですか？

A. 実際にボランティア活動をする人のための研修です。見学はできません。

Q. 医療通訳に興味はありますが、ボランティア活動はできません。

ボランティアへの登録はしないで研修だけ参加することはできますか？

A. 研修にだけ参加することはできません。

Q. 後半2日間の「言語別シミュレーション（通訳演習）」の内容を教えてください。

A. 日本語を話す医師役、外国語を母語とする患者役の間で、受講者は実際に通訳を体験しながら医療通訳技術を習得していただきます。

Q. ふたつの言語で応募したいのですが、可能ですか？

A. 応募できるのはひとつだけです。通訳演習は同じ日に言語別に行われるため、ふたつの言語で演習を受けることはできません。

3. 選考評価について

Q. 事前選考(面接)はどのような内容ですか？

A. 日常会話で言語レベルを評価します。特別な専門的医療用語はありませんが、一般的に使われているような医療用語が多少含まれます。内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。2023年度は、英語のみ面接選考を予定していますが、応募人数によって実施するかどうかは未定です。

Q. 筆記試験はありますか？

A. 講義で学んだことに関する簡単な筆記試験を行います。

Q. 選考の方法は？

A. 4日間の受講状況、最終日に行う個人別の通訳シミュレーションの結果に加えて、特に、実際ボランティア活動に参加していただけるかどうかを重視します。現時点の語学力の高さによる評価だけでなく、将来性も考慮し、総合的に判断します。

4. 活動について

Q. 通訳依頼は定期的にあるのですか？ 実際の派遣頻度はどのくらいですか？

A. 医療機関からの依頼に基づき、その都度調整します。言語、通訳の内容、お住まいの地域によって、依頼件数は異なります。

Q. 通訳依頼の電話を受けたら、必ず通訳に行かなければならないのでしょうか？

A. 通訳コーディネーターからの打診時に、ご都合がつかなければ断ることができます。ただし、理由なく派遣に応じていただけない場合は、次の年度への登録更新をお断りすることもあります。

5. 新型コロナウイルス等の感染症について

Q. 新型コロナウイルス等の感染症が広がっている中でも、病院に通訳に行くのですか？

A. 派遣しています。医療通訳スタッフは協定医療機関の感染防止対策に従って行動しています。